

執業
討論会

どうする開通後は



本町議会では、町の進むべき方向や行政の課題などのテーマを設け、議員討論会を開催しています。

今回は、「山陰道開通後の大山町の活性化策」をテーマに、開通後のまちづくりのあり方を議論し合いました。

議論・意見合った今回の内容を議員間でも共有し、これからの町の活性化策として、より具体的な政策提案につなげていかなければなりません。

議員の資質・能力向上の観点からも、議員討論会を今後も開催していきます。

活性化策は

【杉谷議員】山陰道沿いに看板をかかげ、なかやま温泉をPRすることで、町の活性化になるのではないかと。

【大杖議員】町には開山1300年を迎える大山寺や後醍醐天皇という重要な歴史がある。グルメを開発し、観光と連携して町内に広める。

【遠藤議員】豆腐など田舎の味を求め、町内のそれぞれの地域を回ってもらうことで、観光客が増えるのではないかと。

【西尾議員】高齢化がますます進んでいくなかで、ゆったりと過ごせる環境を官民一体で考えていく時代になった。

【西山議員】町のキャッチフレーズ「だいせんの恵みを受け継ぎ、元気な未来を拓くまちづくり」を山陰道の開通にあわせ、検証するよい機会だ。

【岡田議員】大山寺と所子の伝統的建造物群や町内の遺跡などをつなげ、山陰道から観光客を呼びこんではどうか。また、企業誘致もしやすくなる。

【吉原議員】町に大山・名和・中山インターという三つの玄関口ができた。町が単なる通過点にな



開通したばかりの山陰道

らないように、訪ねてもらおう仕掛けが大切だ。

【大森議員】御来屋の町には古い町並みなど、観光地としての素材がたくさんあるので、道の駅で情報発信をしてはどうか。

【野口昌議員】山陰道を通する人たちが、降りてでも町を訪ねたくなる魅力のある政策を作っていないかという点はないか。

【岡田議員】米子道から山陰道に物流の流れは完全に変わる。そのあたりを視野に入れ、今後のまちづくりをする必要がある。

【近藤議員】どうすればこの町で商売したいと思えるようになるのか。新しい投資が進むように環境を整える必要がある。

【大原議員】東日本大震災後に企業が太平洋側から日本海側にも工場を新設する流れがある。町から積極的に企業誘致を働きかけるべきだ。

【岩井議員】以前のみくりや市は行列ができるほどの人が集まった。昔のにぎわいをどう取りもどすが課題だ。

【加藤議員】開通で、通勤時間は短くなる。今後、各インター周辺を中心に、ベッドタウン化に真剣に取り組む必要がある。

【米本議員】山陰道は観光道路として、鳥取方面から回ってくるバスが増える可能性もある。観光がまちの先導的役割を果たすようにお願いしたい。